

ご当地自慢

長野県南佐久郡北相木村

43

東信森林管理署

ふるさと原風景

今回のご当地自慢は、日本のふるさと原風景を感じることができ北相木村をご紹介します。



相木川の流れ

北相木村は長野県の東、群馬県上野村との境に位置する人口八百人ほどの山村です。村の周囲は秩父山系や御座山に囲まれ、村の面積の約九割を山林が占め千曲川の支流である相木川が穏やかに流れています。

◆御座山

御座山は北相木村と南相木村にまたがり、標高は二、一二二mがあり、日本二百名山となっています。御座山の名の由来



紅葉と薄化粧の御座山

は、神様がおいでになる山ということから、天皇がお座りになる高御座の御座に由来すると言われています。

北相木村から山頂へ至る

登山口は、白岩登山口と山口登山口の二箇所ありますが、白岩口からの登山ルートの中では、五月下旬から六月中旬頃シヤクナゲが見頃となり登山者を迎えてくれます。

◆三滝山・三滝

三滝山は村の北側に位置し、禅宗の「大禅僧都」により開山された信仰の山として広く知られています。その三滝山にある大禅の滝、小禅の滝、浅間の滝を



三滝（大禅の滝 氷柱）

総称して三滝と呼んでいます。三滝の内、大禅の滝の大氷柱は有名で毎年二月には三滝水祭りが盛大に開催されています。

◆メグスリの木（下新井地区）

村の中心からぶどう峠方面へ進むと下新井地区となりますが、その入り口の神社の境内には、メグスリの木としては珍しい巨木があり、長野県の天然記念物に指定されていて地区の皆さんにより大事に守られています。



下新井地区のメグスリの木

◆栃原岩陰遺跡

一九六五年に発見された縄文時代早期の遺跡で国の史跡となっています。岩陰



栃原岩陰遺跡

遺跡とは、張り出した岩盤を屋根代わりに利用したことを特徴とする先史人類の生活の痕跡ですが、この栃原遺跡からは十体以上の縄文時代早期の人骨が出土したことで知られています。出土した人骨から復元された「相木人」の復元模型などは北相木村考古博物館に展示されています。

◆長者の森



長者の森ロッジ

長者の森は村の東側、相木側の上流に位置し、コテージ、ロッジをはじめとするキャンプ施設やテニスコート、マレットゴルフ場などのスポーツ施設や野外ステージ等からなる野外

活動施設です。ロッジやコテージ等は地元のカラマツ材を使用していることから、木の温もりを感じることのできる木造施設となっています。

○北相木村へのアクセス

・電車

JR小海線小海駅からバスで約三十分

・自動車

上信越道佐久インターから国道一四一号で約一時間十分、中央自動車道須玉インターから国道一四一号线で約一時間